

伊豆市議会議員 市政報告 小長谷順二 通信

Vol.24 2019.1



小長谷順二 後援会事務所
伊豆市土肥 450-7
TEL/FAX 0558-98-0400
<http://konagayajunji.web.fc2.com/>
Email photo-ko@yc5.so-net.ne.jp

facebook

小長谷順二 検索

明けましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また平素より議員活動に温かいご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

11月1日の臨時会において伊豆市議会 議会運営委員長に選任されました。公平かつ円滑な議会運営を目指し、地方創生の政策実現に向けて、議員相互の連携を図り、時代の流れに乗り、さらなる発展につながるまちづくりのために、職務を全うするよう努めてまいります。

本年も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして実り豊かな年となりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



平成30年度伊豆市一般会計補正予算第4回

歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億4,994万9,000円を追加

- ・小学校エアコン設置工事・・・2億7,500万円
- ・中学校エアコン設置工事・・・1億3,000万円
- ・台風24号被害（山川ポケットパーク）・・・207万4,000円
- ・台風24号被害（中伊豆支所防水工事）・・・407万4,000円

その他、人事院勧告に基づく給与・手当の増、東京2020大会に係る職員等の家賃借上げ料、高性能林業機械導入補助金、修善寺地区放課後児童クラブ開設に伴う施設備品購入費などがおもな内容です。



土肥山川ポケットパーク改修工事

虹の郷指定管理者募集

1990年の開園から運営を担っていた「修善寺虹の郷」の指定管理者の伊豆市振興公社が、入園者の減少に伴う財務状況の悪化で老朽化する施設や植栽植物への対応が満足にできないことなどから、2019年3月末で指定管理の継続を辞退する事に決定しました。この決定を受け、2月12日まで管理者公募を開始しました。

指定管理期間は4月1日から3年間で、市からの指定管理料はなく、営業収入による自主財源で運営する事業者を募集します。多くの観光客が訪れる大切な施設なので柔軟な対応を進めて頂きたい。



修善寺 虹の郷ライトアップ

修善寺・中伊豆・天城地区の新中学校の整備を求める決議

伊豆市教育委員会は、11月19日市役所で会見を開き「修善寺・中伊豆・天城地区の中学校を統合する」ことを盛り込んだ中学校基本方針をまとめました。なお、新中学校の候補地は、現校舎の改修では難しい点が多いため、新たな候補地を優先して選定し、施設の老朽化や急激な少子化を鑑みて、合併特例債の期限内でもある2025年4月の開校を目標に計画づくりを進めるが、方針決定については「大まかな方向性が決まった」と説明し、具体的な計画は今後検討するとした。

この基本方針を受け伊豆市議会8名の議員が教育環境の改善に向け「修善寺・中伊豆・天城地区」の新中学校の整備を求める決議を議会最終日に提出し9対6の賛成多数で採択されました。



築54年の中伊豆中学校

再生可能エネルギー発電事業 関係法令安全基準規定 議会決議

今定例会において「伊豆市自然環境と再生可能エネルギー発電との調和に関する条例」に罰則規定や安全に関する条項等の新規追加に関する請願書が修善寺地区の住民から提出されました。請願1の「罰則条項の追加」は上位法に抵触する恐れがある。請願2の条例の適宜見直しや適切な勧告指導は有効である。請願3の安全基準の設置、災害補償資金の積み立て義務並びに決算書報告義務については国が基準を作ることが先である。

※本会議において請願2が部分採択されました。

伊豆市議会として住民意向の反映及び安全基準の規定についての規制強化の要望を国の関係省庁に提出することを決定しました。



景観まちづくり重点地区修善寺温泉

小長谷順二の一般質問（第4回定例会 平成30年12月4日）

1. ドローンの活用

Q 災害や海難救助対策、鳥獣害対策、森林の発育状況の調査など、それぞれの自治体の特性に合わせてドローンが活用されはじめています。当市の今後のドローン活用の見解について伺います。

A 新しい技術を活用したドローンには大きく期待をしています。7月には中野測量設計事務所と、災害時に所有するドローンを使い、情報収集などの協力を求める「災害時等におけるドローンによる協力に関する協定」を結びました。当市がドローンを所有するのではなく、提携した事業会社と連携しながら実務的な活用策について進めていきたい。

意見 防災力の強化をはじめ、さまざまな業務の効率化やコスト縮減につなげ、市民サービスの向上や地域活性化を図るために、伊豆市の政策として「活用方針を策定」しドローンの導入・活用に取り組んで頂きたい。



2. 災害ごみ対策

Q 復旧・復興の妨げとなる災害廃棄物を適切かつ迅速に処理すること、廃棄物に起因する初期の混乱を最小限に抑えるための取り組みについて伺います。

A 近年発生した災害の教訓や法改正を受けて、内部組織の体制を構築し、腐敗性廃棄物や有害廃棄物を優先的に回収する手法や仮置場の候補地の設定などを検討しています。そして職員に対する教育訓練などに努め、関係機関と平時におけるさまざまな総合調整を行っていききたい。

意見 災害時には、人命救助やライフラインの確保が最優先ですが、その後は、大量に発生する「ごみ」の問題が必ず発生するので、伊豆市災害廃棄物処理計画に基づき、廃棄物ハンドブック等を作成し、市民の理解・協力を得ながら迅速に処理できる取り組みを行って頂きたい。

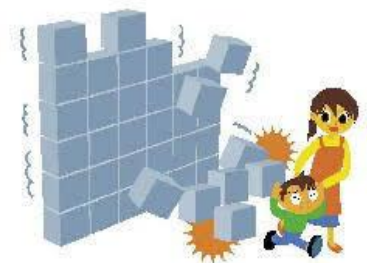


3 ブロック塀崩壊対策

Q 建築物等の耐震化のためのプロジェクト「TOUKAI-0」事業の成果と課題、ブロック塀の現状把握、補助制度の周知や安全啓発など、ブロック塀崩壊減災に向けての取り組みについて伺います。

A 6月の大阪北部地震被害により、例年と比べ多くの申請があります。ブロック塀の現状把握は市域が広大なため、市内全域のブロック塀を一軒一軒調査するのは難しいと考えていますが、公共施設については調査点検し、問題があった時には対策を講じています。防災訓練などで危険個所の把握をおこなうなど、市民のみなさんの協力を仰ぎながら危険ブロック塀の把握を行っていききたい。

意見 無料安全点検、補助費の引き上げなど、ブロック塀崩壊対策に取り組んでいる自治体も増えています。6月の大阪府北部地震を教訓に危険ブロック塀の把握や、安全性に関する意識の啓発に取り組んで頂きたい。



第23回
小長谷順二 市政報告会開催
平成31年1月17日（木）PM7時～
伊豆市土肥支所 4F 読書室

平成16年度から1.2kmのバイパス工事に着手し、難所区間だった1kmの国道136号土肥峠工区Ⅱ期が開通し、残る0.2km区間もまもなく開通します。
1月26日には伊豆縦貫道天城北道路・国道136号下船原バイパスが同時開通。これらの道路整備により西伊豆方面のアクセスは格段に向上し、効果は伊豆半島に広く波及します。観光振興について情報交換しましょう！